

漁業後継者育成研修事業

小笠原大郎・埜見泰宏

目 的

漁業者の減少と高齢化が進行し漁業後継者も不足していることから、本県水産業の維持・発展を図るため、短期研修(通称「賓陽塾」)を実施し、優れた漁業者を確保・育成する。

研修結果

1. 漁業基礎研修

漁業に就業して間もない人、漁業への就業を希望している人を対象に、基本的な漁業技術・知識習得のため実施した。

(1) 研修期間

平成30年6月1日～同年7月31日

(2) 受講生

受講生数は13名であり、出身地内訳は平内町4名、野辺地町3名、青森市3名、八戸市2名、佐井村1名であった。

(3) 研修内容

- ・水産知識 漁業関係法令・制度、栽培漁業・資源管理、ホタテ貝養殖、漁獲物の鮮度保持など(表1)
- ・漁業技術 各種ロープワーク、沿岸漁業実習(表2)
- ・視察研修 県内の水産関連施設(表3)

2. 資格取得講習

「賓陽塾」受講生のうち希望者を対象に、漁業へ就業する上で必要な一級・二級小型船舶操縦士、第三級海上特殊無線技士及び潜水士の資格取得のため実施した(表4)。

3. 出前講座

漁業者の団体等を対象に、漁業技術等のレベルアップのため実施した(表5)。

表 1 水産知識

年月日	内 容	講師 所属・氏名
平成30年		
6月4日	水産総合研究所の概要	水産総合研究所 菊谷企画経営監
6月11日	陸奥湾におけるホタテガイ養殖について	〃 吉田ほたて貝部長
6月18日	簿記・漁業経営	青森県農林水産政策課農業普及改良グループ 久保田主幹
6月25日	漁業制度の概要	青森県農林水産部水産局水産振興課 高山主幹
〃	栽培漁業・資源管理について	〃 〃 白坂主幹
6月29日	漁獲物の鮮度保持	〃 〃 油野主幹
7月2日	海上航行のルール	水産総合研究所 小笠原二等航海士

表 2 漁業技術

年月日	内 容	
	ロープワーク	沿岸漁業実習
平成30年6月4日～ 6月29日	端止め、基本的な結び方、石・玉からめ、三よりロープの接合、クロスロープの接合	漁具作製、かご・さし網・釣り漁業
7月2日～7月30日	石・玉からめ、三よりロープの接合、クロスロープの接合、サザンクロスロープの接合、漁網補修技術、ワイヤーロープの接合、結索 標本作製	かご・さし網・釣り漁業

表 3 視察研修

年月日	視察先
平成30年6月15日	公益社団法人青森県栽培漁業振興協会、試験船「開運丸」、八食センター

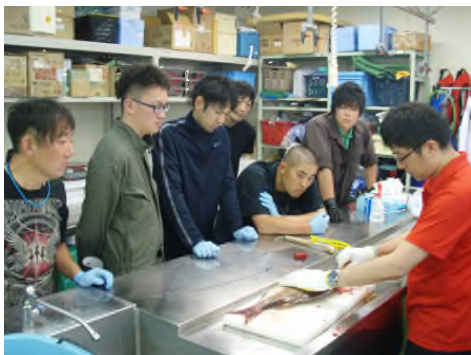
表 4 資格取得講習

資 格	開講期間	開催場所	受講者数	合格者数	備 考
一級・二級小型船舶操縦士	平成30年8月20日～ 8月23日	水産総合研究所	二級 7名	二級 7名	
第三級海上特殊無線技士	11月11日	八戸水産会館	3	3	希望者を県内開催の講習へ斡旋

表 5 出前講座

年月日	開催場所	受講者の所属	受講者数	内 容
平成30年8月31日	川内町漁業協同組合	川内町漁業協同組合青年部	8	三打ちロープの接合

漁業基礎研修実施状況



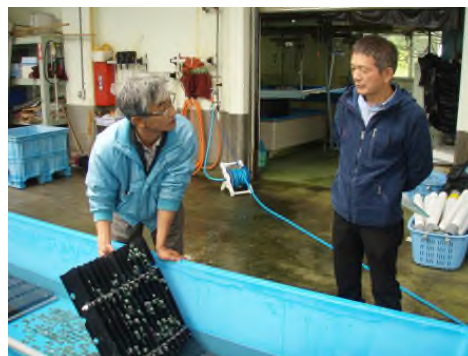
水産知識（漁獲物の鮮度保持）



ロープワーク（クロスロープの接合）



ロープワーク（石からめ）



視察研修（青森県栽培漁業振興協会）

資格取得講習実施状況



小型船舶操縦士学科講習



小型船舶操縦士学実技教習